

## 令和6年度 茨城県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時 : 令和6年8月21日(水) 14:30~16:30

開催場所 : 水戸京成ホテル 2階 瑠璃の間

出席者 :

委員 11名

- 清山 玲 (茨城大学人文社会科学部法律経済学科 教授)
- 中崎 芳夫 (茨城県社会保険委員会連合会 会長)
- 住谷 則男 (茨城県商工会連合会 事務局長)
- 飯瀆 毅 (茨城県教育庁学校教育部高校教育課 指導主事) 代理出席
- 関 和朗 (茨城県都市国民年金協議会(常陸大宮市保健福祉部医療保険課 課長補佐)) 代理出席
- 島崎 俊光 (一般財団法人茨城県社会保険協会 常務理事)
- 早乙女 博 (茨城県年金協会 常務理事)
- 浅野 洋子 (茨城県町村会(美浦村保健福祉部国保年金課 課長))
- 木村 薫 (茨城県社会保険労務士会 会長)
- 大塚 正之 (全国国民年金基金茨城支部 支部長)
- 中西 秀樹 (関東信越厚生局年金調整課 課長)

※ 佐藤洋委員(全国健康保険協会茨城支部企画総務部長)は所用のため欠席

日本年金機構職員 8名

- 白石 圭二 (北関東・信越地域部長)
- 長谷川 夕子 (水戸北年金事務所長)
- 市川 祐一 (水戸南年金事務所長)
- 面川 富士雄 (土浦年金事務所長)
- 飯島 一徳 (下館年金事務所長)
- 笹沼 亜希子 (日立年金事務所長)
- 木澤 典雅 (水戸北年金事務所副所長)
- 村山 昭仁 (水戸北年金事務所総務調整課)

傍聴者及び報道関係者 … 出席なし

1. 開会 水戸北年金事務所副所長
2. あいさつ 北関東・信越地域部長
3. 委員紹介
4. 議事
  - (1) 令和5年度 茨城県地域年金展開事業 事業実施報告について
  - (2) 令和6年度 茨城県地域年金展開事業 事業実施計画について
  - (3) その他
5. 主な意見等

#### **令和5年度 茨城県地域年金展開事業 事業実施報告について**

(島崎委員) 年金事務所の取組事項の中で確認したいことがある。初めに水戸南年金事務所の年金制度説明会の「事業所・年金委員」の対面型の件数が0件となっているが、他の年金事務所と同様に算定事務講習会を行っているのではないかと。また、質問事項としては、水戸北年金事務所ですが年金制度説明会の11月に開催をしている「指摘事項の多い項目」については管内すべての事業所を対象に案内をしているのかどうかお教え願いたい。次に水戸南年金事務所ですが、非対面型の年金制度説明会を10回行ってはいますが、これはひとつのテーマで毎回行ったのか。それともいくつかテーマを分けて開催したのかどうかお教え願いたい。最後に土浦年金事務所ですが、年金制度説明会の関係機関・団体を対象に令和6年2月に「適用事業所担当者向け制度・事務手続き説明」を行っていますがこれは主体がどこの団体になるのかお教え願いたい。併せて下館と日立でも同様に年金制度説明会の関係機関・団体を対象に行っているのも同様にお教え願いたい。

(市川所長)

水戸南年金事務所の年金制度説明会の「事業所・年金委員」の対面型の件数が0件となっていますが、ご指摘の通り算定事務講習会は行っています。コロナ禍でもありこの間は開催しておりませんでした。令和5年度より復活し、2回開催しました。件数が漏れてしまい申し訳ありませんでした。また、年金制度説明会の10回行っている非対面型についてですが、これは新規適用事業を対象に開催しています。慣れていない担当者のため、間違いが多いテーマについて行っています。基本的にはテーマは一つとなっています。

(面川所長)

土浦年金事務所の令和6年2月に開催しました年金制度説明会について、社会保険労務士会主催の研修会に参加しております。以上です。

(長谷川所長)

水戸北年金事務所の11月に開催をしている年金制度説明会については、事業所調査を行った際の指摘が多くあった項目について、社会保険労務士会主催の研修会で説明を行っています。以上です。

(飯島所長)

下館年金事務所の年金制度説明会の関係機関・団体を対象に行っている説明会「筑西地域公共機関等年金制度説明会」については、筑西市長が座長となり国や県などの機関が参加しております。そのなかでチラシ等を配付して意見交換を行っています。

(清山委員長)

確認したいことがあります。その説明会には、説明をする方以外の方、説明を聞く方例えば市の職員の方などはいらっしゃるのですか。

(飯島所長)

説明会となっているのですが、説明をするのも各団体の責任者になり、聞く側も各団体の責任者になりますので、それ以外の外部の方は参加していません。

(笹沼所長)

日立年金事務所の関係機関・団体を対象に行っている説明会「日立地区公共機関等年金制度説明会」については、ハローワークの職員や失業保険を受給する特に女性の方を対象に「年収の壁支援強化パッケージ」として、106万円を税務署の職員が、扶養の130万円については年金機構の職員が説明をしました。以上です。

(中西委員)

2点ほど確認したいと思います。1点目は年金セミナー事業についてですが、在学中の如何を問わずの20歳到達者に向けてのセミナーとは、何かなと思っていたのですが、先ほどの水戸北年金事務所長からの、20歳から25歳を対象にと説明がありましたのでよくわかりました。これまで他県の運営調整会議に参加させていただきましたが、学生ではない方を対象にすることはあまり聞いたことがなかったので、茨城県として引き続き進めていただきたい。

また、一部の年金事務所の話になるのですが、土浦年金事務所、障害者就労支援事業所にて事業所職員及び利用者に対して障害年金の制度説明を行っています。この取組みは他ではあまり行っていないのではないかと思います。参考までに確認したいのですが、この取組みは、年金事務所が働きかけて行ったものなのか。事業所から依頼があったものなのかお教え願いたい。

(面川所長)

大変申し訳ございません。そこまでは確認をしていませんが、相手側から話があったことだとは思っています。

(大塚委員)

地域年金展開事業については、年間を通して行っていることと思いますが、11月の年金月間の取組みについて、年金の日のポスターの掲示依頼がありますので対応しておりますが、年金制度説明会と年金セミナーの11月に実施した取組を拾い出すと、年金月間とうたっている割には件数が少ないのではないかと考えています。HPの地域相談事業の中に大規模商業施設やイベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設とありますので、11月の年金月間に実施していくことはできないか。国民年金基金としても実施していくことになるのなら参加していきたいと考えています。

(清山委員長)

今後に向けての積極的なご提案ありがとうございました。

### 令和6年度 茨城県地域年金展開事業 事業実施計画について

(飯瀆委員代理)

令和5年度の年金セミナーについては、令和4年度と比べると大きく増えている状況で、学校の行事も以前のコロナ禍前に戻ってきています。そのためか公立高校の年金セミナーの件数も27校と多くの学校で開催しています。開かれた教育課程を進めていくためにも外部の方にご協力を頂いて学校の教育活動を進めております。その点では年金セミナーも外部の人材を活用した教育活動の一環となっています。少し気になっていることは、学校の課外授業や外部活動のときに教職員の方と話をしているときに効果についての話が出ます。年金セミナーを行うことでどのような形で授業に活用ができるのか。授業に取り入れることができるのか。判断するのは教職員になりますので、年金事務所の方から働きかけがあるといいと思います。ひとつ質問があります。年金セミナーのアプローチの時期や方法についてわかれば教えて頂きたい。

(長谷川所長)

各年金事務所ともアプローチの時期は、年度が変わって行っているところが多くあると思いますが、それでは開催校が増えないということでもっと早い時期にアプローチを行ったりしていましたが、ここ数年はコロナということで学校側の協力が得られない状況でした。機構としてもどのタイミングでアプローチを行うのがいいのか悩んでいる状況ですので、逆にアドバイスを頂きたいと思います。

(飯瀆委員代理)

翌年度の学校の行事については、1月から3月にかけて検討をしています。そのため、年度が明けてからお願いするのは難しいと思います。年度が変わる前にアプローチをして頂いたほうがよろしいと思います。アプローチについても学校の授業や行事に取り入れやすいような提案をして頂くと先生方も活用してみようかとなるということです。例えば、令和4年度から学習指導要領が変わって、公民の中の「公共」の授業は、1、2年生が学ぶことになっています。そのため、授業の中で行うのであればこの時期がいいとか。また、学校行事の一環として開催するのか探求活動として社会保障を考えていくのか。学校側に提案ができればいいと思います。

(清山委員長)

ありがとうございました。商工会議所でもセミナーや研修会をたくさん行っていると思いますので、住谷委員にはセミナーを開催して頂けることについて参考になるようなことがあればお話をさせていただきたいと思います。

(住谷委員)

商工会議所でも色々と研修会等を行っている。また、商工会議所としてできることは何かと考へ、社会保険労務士会と提言を結ばせてもらっている。また、事業所向けの広報誌の発行を行い、事業所への情報提供を行っています。

また、毎年同じ話になってしまいますが、中学校での年金セミナーを開催してもらいたい。資料の中にも今後拡充を図りたいと記載がありますので、若いうちから年金のことを知ってもらう、興味をもってもらうことは個人的には大事なことだと思います。

(白石部長)

年金機構の本部からきていますので、現在の動向などをお知らせしたいと思います。私は九州出身なのですが、九州では比較的早い時期から中学校で年金セミナーを開催しています。ただ、現在の資料の内容が高校生向けとなっていますので、もう少し簡単な中学生向けの資料が欲しいとの声があり今まさしく本部のほうで中学生をターゲットとした資料を作成中であり、近いうちに展開されるのではないかと思います。それともう一つアニメーションの動画を作成しようではないかの話があり、ねんきんエッセイの優秀作品の内容をアニメーションにして動画として提供する。動画については、今年11月のねんきん月間に間に合うように提供をする。中学生向けの資料として活用できるではないか。また、それ以外のターゲットについてもほかの場面で上手に活用できる方法があればどんどん案を出して頂ければ積極的に使っていきたい。

(清山委員長)

最新の取組についての情報提供、ありがとうございました。

(木村委員)

社会保険労務士会として取り組んでいることは高等学校、専門学校や大学などへ社会保険労務士を派遣する「出前授業」を行っています。これから社会へ出る方に対して知って頂きたいことをお伝えしています。社会保険労務士会としても地域交流活動を大事にしていますので、年金事務所と情報を共有しながら行っていければいいなと思っています。また、我々のほうでは現在、総合年金相談所を進めています。県内に6か所開設し、主に労務相談を定期的に受けています。来年度あたりからは、年金相談を受けられるよう準備を進めています。

(早乙女委員)

資料9頁、地域型年金の活動に対しての好取組事例などがあれば教えていただきたい。また、地域型年金委員の地区連絡会について参加人数があまり良くない。事業計画では地区連絡会での研修の実施となっているが、ほかにあるのか教えていただきたい。

(長谷川所長)

地域型年金の活動の好取組事例については、大変申し訳ないがすぐには出てこない。また、研修については、やり方や回数等について検討していきたい。

(白石部長)

地域型年金の活動の活性化については以前からの課題となっています。また、以前から活動されていた委員方も高齢化により身を引かれていきますが、若い委員の方が増えていないのが実情です。そのため、年金委員となることのメリットについて必要なのではないかと現在本部で検討しています。

(関委員)

市町村向けの研修の内容についてのお願いです。障害年金の相談については、各市町村で苦慮していますので、障害年金の研修についてお願いしたいです。

(長谷川所長)

年度の最初は、新任の担当者向けの基礎的な研修が行われることが多くありますが、今回、このような意見があったことは担当に伝えていき、内容の検討をしていきたいと思えます。

(浅野委員)

昨年度の会議で提案させていただいた特別支援学校での説明会ですが、対応いただきありがとうございます。

お願いですが、外国人の方について、国保年金課で年金の手続きについて対応していますが、人数がかなり増えている状況です。年金のことが分からない方が多くいますので、年金事務所で何か取組をしていただけると助かります。以上です。

(清山委員長)

ありがとうございます。茨城県内の外国人は増えている状況です。資料や動画は言語の問題等ありますが色々と考えていただきたいと思います。

(中崎委員)

最後に締めていただきたいとのことですが、一つ質問をさせていただきたいと思えます。

日立年金事務所で大学の文化祭に参加した記載がありますのでどのような感じだったのか教えていただきたいと思います。

(笹沼所長)

大学の文化祭に参加したため、学生以外の一般の方もいました。そのためか思った以上に学生の集客ができなかったため、今後はチラシを多くの学生に配るなど納付の相談だけでなく、広く年金の相談に対応していきたいと考えています。

(中崎委員)

ありがとうございました。授業の一環としての制度説明会を開催することは難しくても、文化祭に参加することで学生の方に年金のことについて興味を持っていただくことは大事なこと

ではないでしょうか。他の年金事務所でも取り組んで頂きたいと思います。

6. あいさつ 水戸北年金事務所長谷川所長

7. 閉会 水戸北年金事務所副所長